

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2024 年 2 月 2 日

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしいという場合や研究に関するお問合せなどは、以下の「問合せ先」へご連絡ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名	腎機能評価方法の違いと、骨折リエゾンサービス（FLS）ラウンド後の処方薬との関係
実施部署	医療法人財団荻窪病院 薬剤科
研究責任者	松島 菜々
研究期間	西暦 2024 年 2 月 6 日～西暦 2024 年 10 月 31 日
研究目的と意義	骨折リエゾンサービスラウンドにおいては腎機能の評価指数に eGFR 式を採用し、これによる処方内容の変化や、低 Ca 血症、上部消化管障害等の副作用発生頻度に影響があるかを調査することです。
研究内容	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん 2022 年 4 月から 2024 年 1 月までに大腿骨頸部・転子部骨折に対し手術を施行し、骨折リエゾンサービスラウンドを実施した年齢 50 歳以上の患者さん。●利用するカルテ情報 骨折リエゾンサービスラウンド実施日、年齢、性別、体重、骨折部位（診断名）、骨粗鬆症治療歴（治療薬）、ラウンド後処方薬、治療選択に影響を与えた因子・原因、腎障害が発生した場合併用薬、骨粗鬆症治療薬によるものを疑う副作用症状、入院期間、検査データ（血清クレアチニン値、カルシウム値、アルブミン値、eGFR 値）をカルテより収集します。●研究方法 2022 年 4 月から 2023 年 9 月を推算クレアチニンクリアランス群、2023 年 10 月から 2024 年 1 月を推算糸球体濾過量群とし 2 群間での BP 製剤の投与比率、低 Ca 発生率（Ca 値の変化率）、BP 製剤によるものを疑う副作用発生率を比較します。
問合せ先	【本研究に関するご意見、苦情に関する相談窓口】 窓 口：松島 菜々 住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電 話：03-3399-1101 (代表) 受付時間：月～金 8：30～17：00